

<全体分析>

試験時間

90分

解答形式

記述式（一部客観式）。

分量・難易（前年比較）

分量（減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加）

難易（易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化）

2024年度は読解総合問題【I】と【II】の総語数は1,887 wordsだったが、2025年度は読解総合問題【I】【II】の総語数は1,640 wordsとなり、247 words減少。問題の難易は「変化なし」となった。

出題の特徴や昨年との変更点

（特徴）

- ・読解総合問題2題と自由英作文1題という構成は昨年と同様である。
- ・和訳、英作文を中心とする国公立大型の記述式問題と、私立大型の客観式選択問題で構成されている。
- ・英文和訳問題では、英文の正確な構造把握をベースにした自然な日本語訳が求められている。
- ・【III】 【英作文】「来日する外国人観光客の増加の理由」を記述する形式。

（昨年との変更点）

- ・昨年【読解総合】にあった条件付き説明問題、条件付英文和訳問題、内容真偽問題が姿を消した。
- ・【III】の自由英作文の指定語数は、2024年度は100語程度であったが、今回は100語以上となった。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[I]	読解総合	「謝罪の言葉の正しい言い方」 (851words)	問1 英訳問題。 問2 和訳問題。(with the best of intentions / undermined などの訳出に注意) 問3 前置詞補充問題。 問4 表現選択空所補充問題。 問5 英訳問題。 問6 英訳問題。 問7 客観式問題。(文脈と文構造を理解して、空所に入る語句を選択する問題) 問8 和訳問題。(as if ~ / not only A but B / 動詞 discarded / which is indeed how~ / the days that followed などの訳出に注意) 問9 説明問題。(下線部にある“doctor”に注意) 問10 和訳問題。(同格 / lead to ~ / bitterness などの訳出に注意) 問11 客観式問題。(文脈を理解して、英語の表現を補充する問題) 問12 客観式問題。(文脈を理解して、下線部の意味を表す英文を選択する問題) 問13 和訳問題。(It takes ~ / put A before B / our need to be right などの訳出に注意) 問14 客観式問題。(文脈を理解して、英語の表現を補充する問題) 問15 説明問題。(理由を説明する問題) 【出典】 The Right Way to Say 'I'm sorry' Jane E, Brody, New York Times, 30 January, 2017	やや難
[II]	読解総合	「AI チャットボットの不正確さ」 (789 words)	Q1 客観式問題。(文脈に合わせて動詞を選択し、適切な語形に変える) Q2 和訳問題。(共通関係の構造理解) Q3 客観式問題。(文脈を理解して、英語の表現を補充する問題) Q4 英訳問題。 Q5 説明問題。(下線部後の dangerous に着目する) Q6 客観式問題。(文脈を理解して、英語の表現を補充する問題) Q7 説明問題。(下線部の内容についての理由を英語で説明する問題、下線部にある prudent の意味に注意) Q8 説明問題。(下線部の内容について日本語で説明する問題) Q9 和訳問題。(classified A as B などの訳出に注意) Q10 空所語句補充問題 (文脈を理解して、英語の形容詞を補充する問題) Q11 客観式問題。(本文の空所に英語の表現を補充する問題) 【出典】 Bigger AI chatbots more inclined to spew nonsense — and people don't always realize September 25, 2024, Nature	標準

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント（設問内容・答案作成上のポイントなど）	難易度
[Ⅲ]	英作文	自由英作文「来日する外国人観光客の増加の理由」 (100 words 以上)	来日する外国人観光客の増加の理由を2つ以上挙げて英語で説明する問題。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

例年、大問構成に多少の変化が見られるものの、下線部和訳と英訳、内容説明、及び自由英作文が設問の中心であることには変わりはない。英文を読む量も大切だが、英文の構造を正確に理解する力をつけることが肝心である。なお、基本的な文法・語法・イディオムなどの出題は姿を消しているが、この点もしっかり学習しておくといよい。ここ数年、読解問題のテーマは、医学・医療だけでなく人文・社会などさまざまな分野に及んでいるので、本学部の過去問はもちろんのこと、他大学、特に記述問題を中心とした国公立大の読解問題に取り組むことも有効である。自由英作文については、状況を説明したり、個人的体験や好み、また社会問題に対して自分の意見を主張したりするなど、さまざまなテーマを設定して、100語以上の長さの英文を書く練習を重ねていく必要がある。日本語、英語ともに記述量が多いので、解答を作成する実践演習が合否を決定すると言えるだろう。